

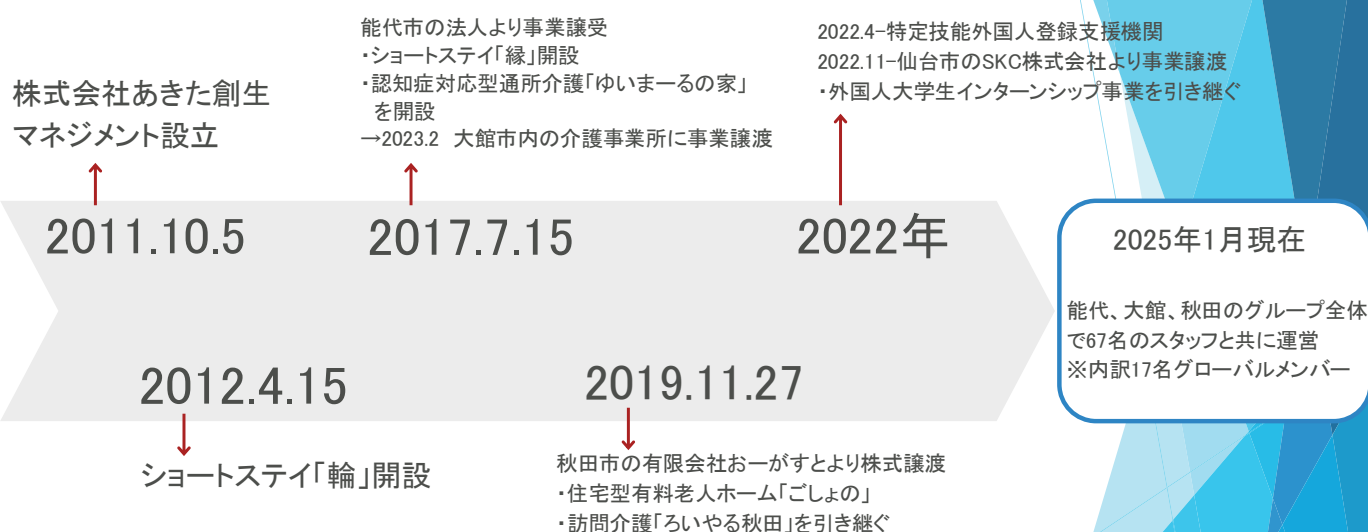
人口減少社会に介護経営をリデザイン！ 『業務棚卸』をキーワードに 介護現場のDX化を推進する

株式会社あきた創生マネジメント
代表取締役 阿波野聖一



© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

これまでの歩み



2021年を期にロゴの変更



© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

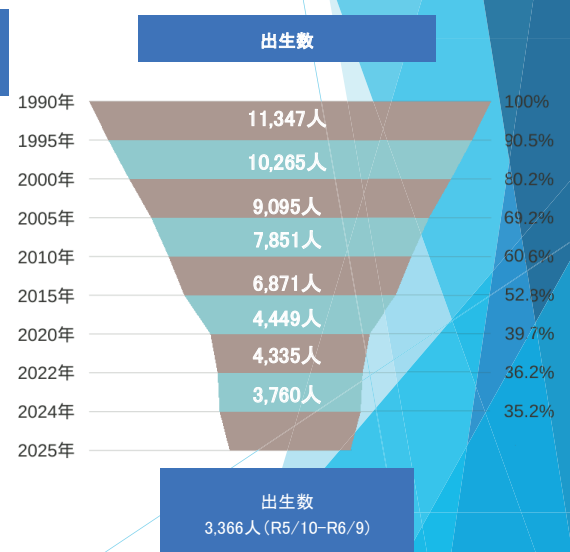
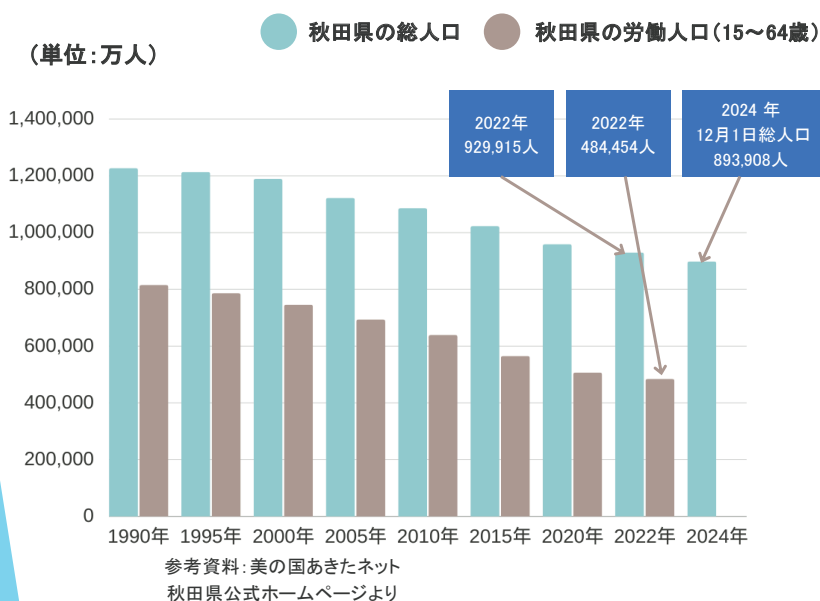


背景

© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

背景

秋田県の労働人口の推移と出生数



© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

地域医療情報システム 能代市

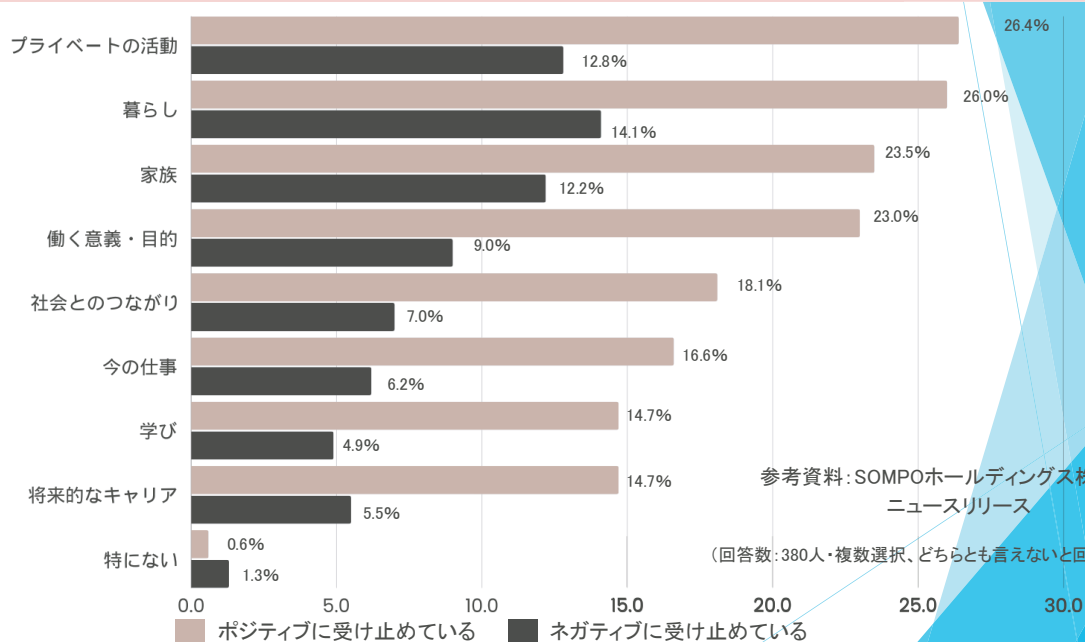
高齢者人口は2020年でピークを迎え、後期高齢者人口は2030年でピークを迎え
2035年には高齢者人口が生産年齢人口を超える

年齢階層		国勢調査	将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所 2023年12月推計)					
		2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
	年少人口 (0～14歳)	4,231	3,151	2,474	2,012	1,796	1,574	1,325
	生産年齢人口1 (15～39歳)	8,506	7,055	6,133	5,454	4,446	3,621	2,799
	生産年齢人口2 (40～64歳)	16,456	14,715	13,021	11,180	9,460	7,830	6,801
	高齢者人口 (65歳以上)	20,775	19,827	18,625	17,475	16,498	15,456	14,048
	後期高齢者人口 (75歳以上＝再掲)	11,476	12,054	12,087	11,466	10,623	9,830	9,296
総人口		49,968	44,748	40,253	36,121	32,200	28,481	24,973

注目：生産人口と高齢者人口が逆転している

© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

Q コロナ禍での働き方により、何を前よりも重視したいと思うようになりましたか？

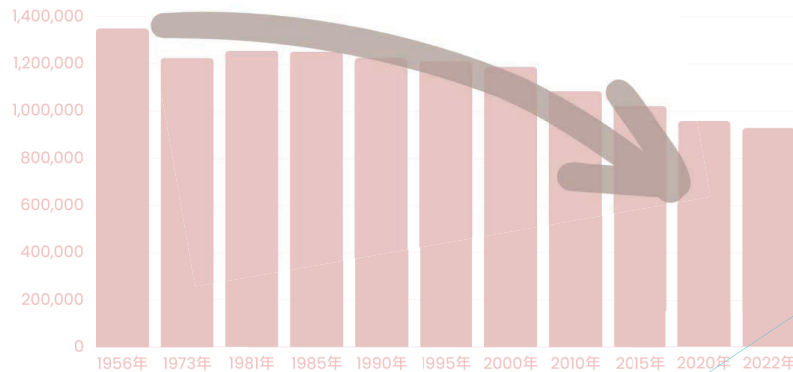


© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.



キーワード

人口推移と価値観変容



© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

株式会社あきた創生マネジメントの取り組みをAIで集約

Genspark

▶株式会社あきた創生マネジメントは、人口減少と少子高齢化に対応するため、多様な人材を受け入れる環境を整備しています。その一環として、業務を「棚卸」し、業務内容を可視化して時間ごと、月ごと、年ごとに細分化しています。業務は人手とテクノロジーに分けられ、さらに人手の部分も細分化し、アウトソーシング可能な部分を明確にしています。特に海外人材が理解しやすいようにICTツールを活用し、効率的な翻訳や教育、コミュニケーションを促進しています。また、テクノロジーを活用して介護業務の効率化や事務スタッフの生産性向上を図り、テレワークやリモートワーク、フレキシブルな勤務形態を推進しています。

© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

はじめに

- 株式会社あきた創生マネジメントは、人口減少と少子高齢化に対応するため、多様な人材を受け入れる環境を整備しています。
- 業務を棚卸しし、業務内容を可視化して時間ごと、月ごと、年ごとに細分化しています。

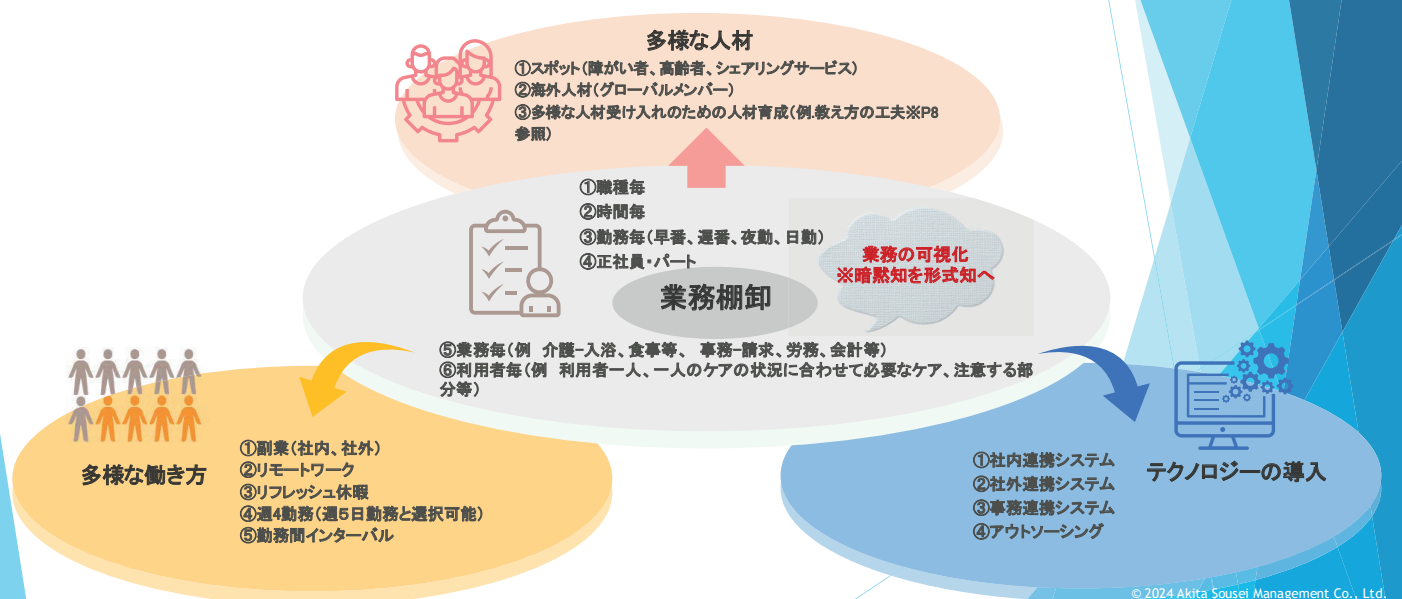
5つのキーワード

- ✓ 関係・キッカケづくり
- ✓ 多様な働き方
- ✓ テクノロジーの活用
- ✓ グローバルメンバー
- ✓ 情報発信



© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

業務棚卸図(概要の考え方)



プロジェクト詳細 多様な人材(関係人口)



すきま時間を利用して働きたい人と、
人手を必要としている介護施設を
マッチングするサービス

オンラインMTGツール「zoom」
を活用して、未来の介護について
語り合う機会を定期的 to開催

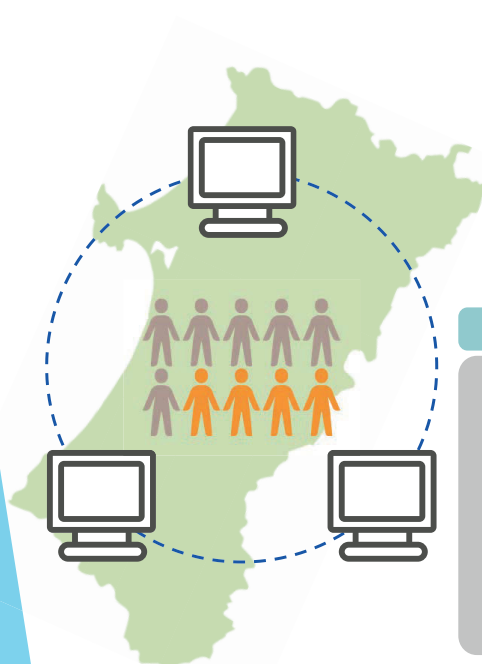


2022年10月、11月全国に遠征スケッターを呼びかけ！！

コロナの残務処理にて遠征スケッター(26名)を
活用してお手伝い

© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

プロジェクト詳細 多様な働き方



人口減少が進む地方だからこそ、これまでの雇用関係に縛られず
副業やリモートワークが可能にすることや多様な働き方を取り入れ
る必要。

内容は

副業とリモートワーク

- ①社内での副業を『社内パラレルキャリア』
- ②社外での副業を『社外チャレンジワーク』
- ・リモートワーク

- ・リフレッシュ休暇
- ・週4勤務(週5日勤務と選択制)
- ・勤務間インターバル

© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

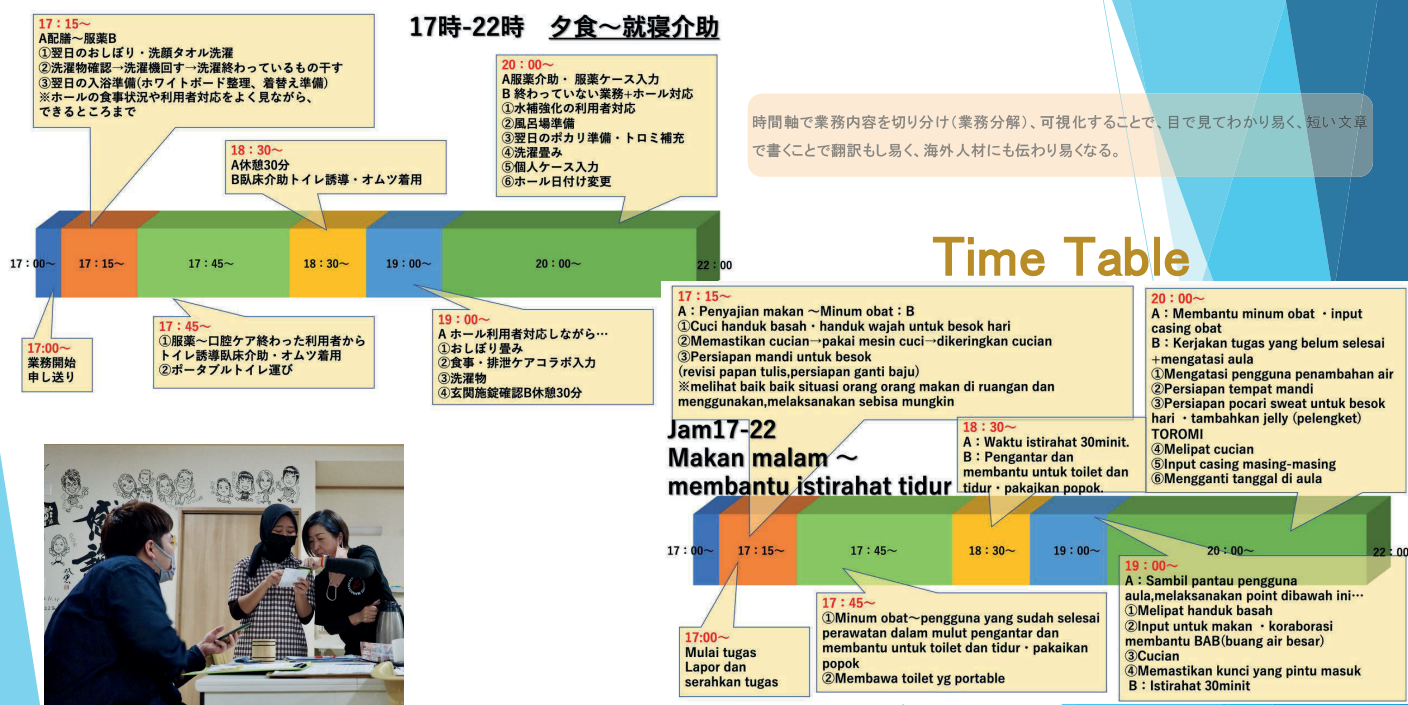
プロジェクト詳細 テクノロジーの導入

	システム名	特徴
社内連携	carecol Labo	利用者の生活の様子をスタッフと家族で共有
	Happiness	マットレスの下にセンサーをセット体の異常をキャッチ
	LINE WORKS	チャット、掲示板、カレンダーで仕事の効率アップ
	BONX WORK	話しかけたタイミングでのみ相手と通信
社外連携	Doctor Mate	医療相談 現役医師がオンラインでアドバイス
	HELP YOU	バックオフィス等のオンラインアウトソーシング
事務	KING TIME	従業員の打刻データをリアルタイムで確認
	Drop Box	資料、写真動画ファイルを複数人をネット上で共有
	freee	正確な記帳、計算、大幅時間削減会計状況をリアルタイム確認



© 2024 Akita Sousai Management Co., Ltd.

プロジェクト詳細 教え方の工夫(海外人材用)タイムテーブル



© 2024 Akita Sousai Management Co., Ltd.

取り組みの浸透のために プロジェクト導入前にすること

目的の共有と相談体制

災害等の有事に備えたリアルタイムな情報把握、共有とともに下記の目的のために使用する。

コミュニケーションの活性化



事業所間、事業所内タテ、ヨコのコミュニケーション活性化。

チーム内のコミュニケーションを密にして、チーム内の目的や目標を明確にし方向性を統一する

情報とノウハウの共有



会社からの情報や業務上のノウハウ共有

企業文化の浸透



会社のミッション・ビジョン・バリューの浸透

相談体制の整備



操作指導、確認

不安、不満等の感情の確認

その他、LINEWORKSを導入したことに関わることの確認

© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

取り組みの浸透のために プロジェクト導入後にすること

ガイドラインの作成と内容

使用目的やルールを決める

ガイドラインの目次

- P2 LINEWORKSの使用目的
- P3 ガイドライン目次
- P4 就業前/就業後の使い方
- P5 休日の使い方
- P6 こんな時どうすれば
- P7 緊急とはどんな時...
- P8 個人スマホの使用について
- P9 こんな時どうすれば 個人スマホ、LINEWORKSの使用について
- P10 LINEWORKSを仕事に組み込む
- P11 こんな時どうすれば連絡についての前提と理解
- P12 注意・指導について
- P13～P18 LINEWORKSと他情報共有ツールとの線引き
- P19～P23 LINEWORKS参加してないスタッフへの対応

LINE WORKS

具体的な内容は...

就業前・就業後の使い方/
個人スマホでのLINEWORKSの使用についてなど

こんな時どうすれば？
仕事時のLINEWORKSの確認
は？仕事時仕事に関係ない連絡は？



就業前/就業後の使い方は？
就業前、終業後の通知は切ってもいい？

© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

プロジェクトの成果やインパクト

プロジェクトの波及効果とインパクト

プロジェクトの波及効果とインパクト

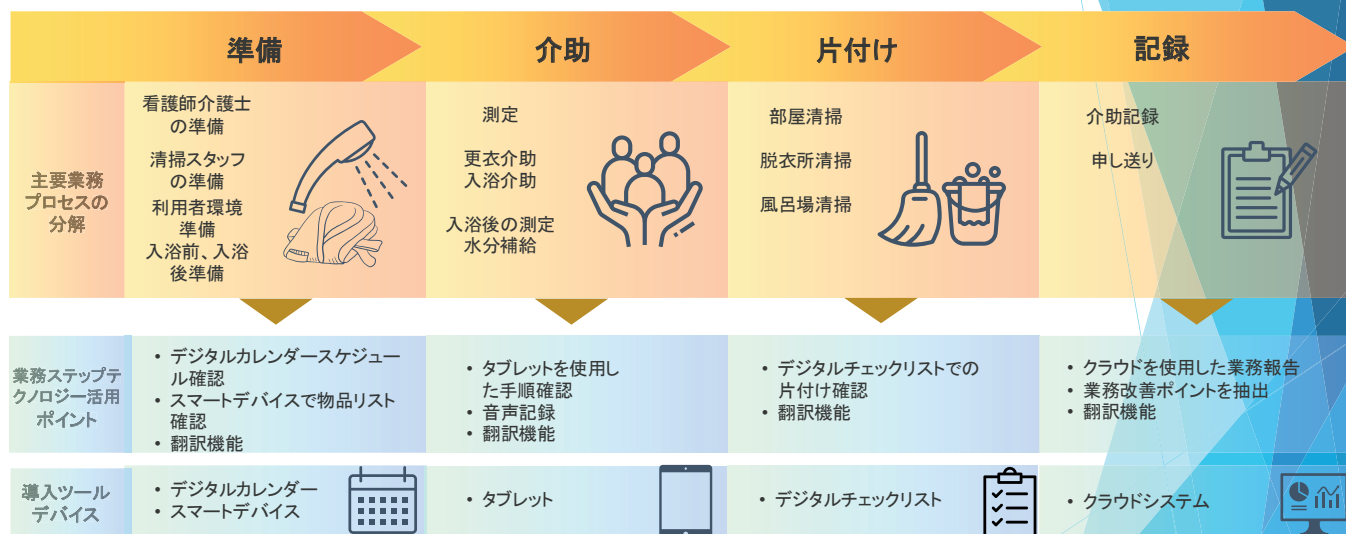


これらを実現させるためには各職種の業務の暗黙知を形式知へ業務を可視化し“業務棚卸”が必要不可欠

© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

デジタル活用のポイント

業務棚卸とテクノロジー活用例 入浴介助



業務棚卸とテクノロジーの導入により、海外人材とのコミュニケーション、人材育成も円滑になり、介護現場で多様な人材の受け入れが促進されます。

© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

取り組みの成果や効果

▶労働力不足の解消:

副業制度やリモートワークを導入することで、多様な人材の確保が可能となり、特に地域で顕著な労働力不足に対応することができました。
※高齢者雇用4名、障がい者雇用3名、海外人材雇用17名(2023年1月末現在)



▶生産性の向上

ICTツールやテクノロジーの活用により、業務効率が向上し、スタッフの業務負担が軽減されました。また、業務棚卸によって業務内容の可視化・共有が進み、作業効率が向上しました。
※残業時間が事業所あたり月平均50時間(2018年度)の残業が5時間未満へ減少(2023年度実績)



▶従業員の働きやすさの向上

週休3日制やリフレッシュ休暇、勤務時間インターバルの導入により、ワークライフバランスが向上し、従業員の満足度やモチベーションが高まりました。2022年度以降、定着率は安定し、採用も十分できている。
※定着率 96.4%(2021年度実績)から、従業員定員の増加に転じ、103.8%(2022年度実績) 103.5%(2023年度実績)と、定着率は安定し、採用率も外国人雇用等の成果もあり増加となっています。



▶有給取得率(6日以上)35%(2020年実績)→95%(2023年度)

before



after



© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

私たちのビジョンマップ

私たちは業務棚卸を通して、介護現場の暗黙知を形式知に切り替え、可視化し、多様な人材を受け入れられる環境(多様な働き方、テクノロジー活用)創りし、この環境をベースにグローバル展開を目指していきます。



© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.